

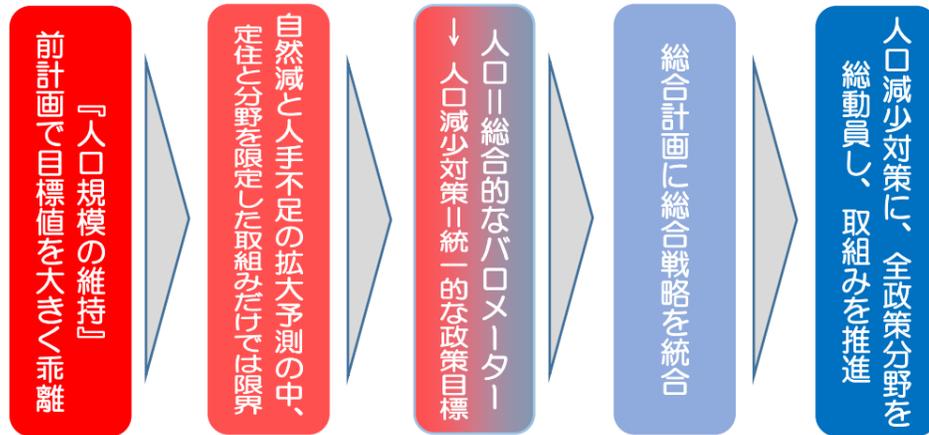
第 7 次 敦 賀 市 総 合 計 画
中 期 事 業 計 画 の 概 要
～ 中 間 と り ま と め (案) ～

令 和 3 年 1 月
敦 賀 市

第7次敦賀市総合計画の位置付け・構成と基本構想

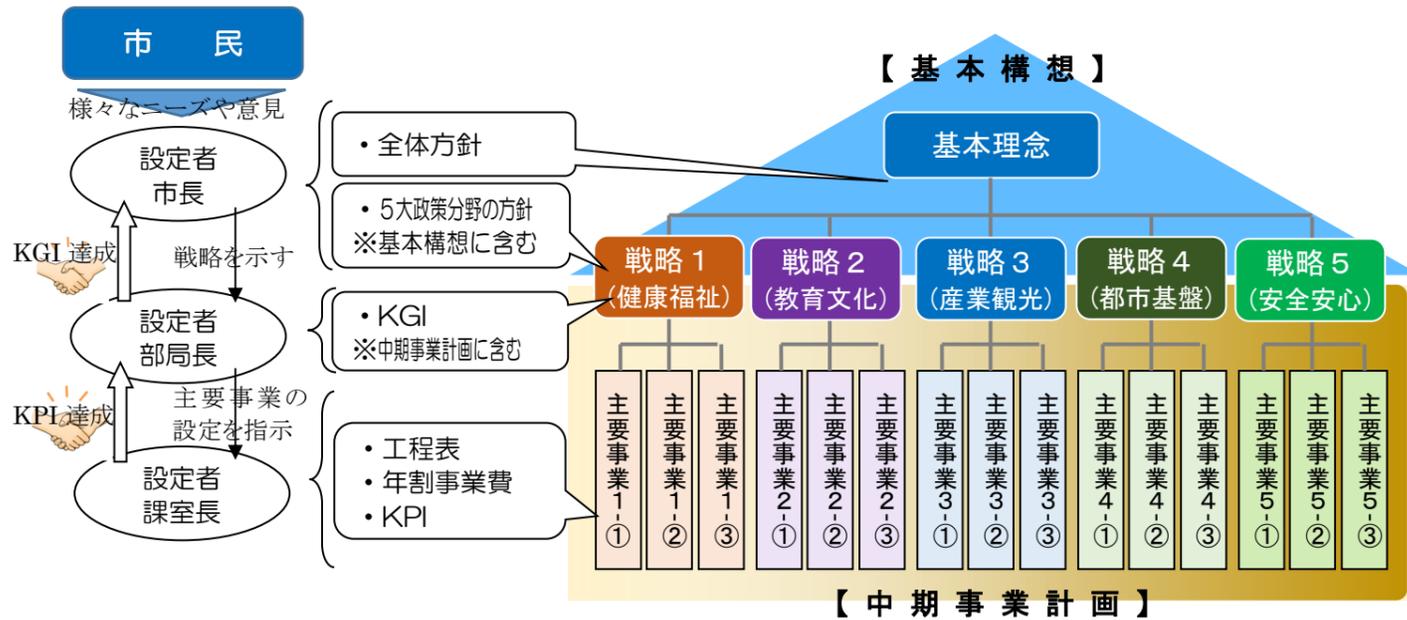
1 位置付け

- 前計画で大きく目標値と乖離した人口規模を最重視し、人口をまちの総合的な魅力を表すバロメーターと位置づけ
- また、定住と分野を限定した取組みに限界が見える中で、総合計画＝総合戦略とし、政策目標の達成に向け、取組みを推進



2 構成

- 市長は、全市政方針として基本理念と5大政策分野ごとに戦略を設定し、各部長等を示す
- 各部長等は、戦略ごとにKGI（重要成果指標）を設定し、その達成を市長（市民）と約束
- 各課室長は、部局長が設定したKGIの達成に向けた主要事業とKPI（重要業績指標）を設定



※KGI：Key Goal Indicator、重要成果指標のこと。
 戦略を体現する今後5年間の目標。成果指標のため、**政策の達成管理に用いる。**

※KPI：Key Performance Indicator、重要業績指標のこと
 主要事業における今後5年間の目標。業績指標のため、**事業の進捗管理に用いる。**

3 基本構想

	概	要	対応するSDGs
基本理念	「次世代につなげる 夢と希望に満ちた 住みたくなるまち敦賀」		
	北陸新幹線敦賀開業を交通の要衝としてさらなる発展の機会として捉え、市民とともに、敦賀に集う誰もが夢と希望を感じ、住みたくなるまち敦賀を目指す		
	【戦略1 健康福祉分野】	世代をつなぎ暮らしやすい環境づくり	
	<ul style="list-style-type: none"> 安心して子育てができる環境を整備・発信 障がい福祉や地域包括ケアシステムを推進 健康寿命の延伸等を推進することで、一生涯安心福祉や地域医療を充実 		
	【戦略2 教育文化分野】	次世代につなげる人づくり	
<ul style="list-style-type: none"> 全国に誇り得る、特色ある教育環境を整備 人道の港のエピソードや地域の特性を生かした「学び」を充実することで、敦賀を次世代につなげ、支える人づくりに取組む 			
戦略	【戦略3 産業観光分野】	地域と人をつなぐ厚みのある産業づくり	
	<ul style="list-style-type: none"> 強みを活かした地場産業の強化と「つながり」と「多様性」を重視した産業政策を展開 新たな生活様式への対応等に向け、主力産業である商業の稼ぐ産業化を推進 地域資源を活かした受け皿づくりを推進し、広域的な観光圏の形成に取組む 		外
	【戦略4 都市基盤分野】	未来につなげる都市づくり	
	<ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線敦賀開業に向け、その受け皿づくりの総仕上げを行う 広域的な観光圏・経済圏を実現する周辺地域とのネットワークの強靱化 生活基盤の充実化と交流拠点にふさわしい都市づくりに取組む 		外
	【戦略5 安全安心分野】	絆でつなぐ安全安心なまちづくり	
<ul style="list-style-type: none"> 笙の川の整備促進等の防災対策や施設耐震補強等の減災対策に取組む 原子力発電所立地自治体であることや新型コロナウイルス感染症拡大等を踏まえた、万が一の防災体制等を整え、安全安心なまちづくりに取組む 			
略	【戦略の推進に向けて】	市民とともに進めるまちづくりの深化	
	<ul style="list-style-type: none"> 「市民とともに進める」まちづくりをさらに深化 交流都市 敦賀の特性を活かし、まちへの誇りを育み、多様性を重視し、全ての市民の皆さんとともに、各戦略とこれに基づく各種取組を推進する 		

戦略

子育てに関する不安や悩みを解消し、安心して子育てができる環境を整備・発信するとともに、

農福連携や障がい者の緊急時における対応拠点の整備、地域包括ケアシステムや

健康寿命の延伸への取り組み等を推進することで、「誰もが安心して住み続けたいまち敦賀」を目指し、一生涯安心福祉や地域医療の充実に取り組みます。



子育て環境日本一プロジェクト

安心して子育てができ、次世代を担う子どもたちが健やかに成長できるよう、結婚から子育て期にわたる切れ目ない支援を行うとともに、子育て支援に関する情報発信に積極的に取り組み、子育て環境の一層の充実を図ります。

子育て家庭の負担軽減

結婚から子育て期にわたる切れ目ない支援

【子ども医療費助成事業】
高校修了までの子どもの医療費を助成することで、子育て家庭の経済的負担の軽減を図ります。

【保育園改修・児童クラブ新設事業】
子育ての経済的負担の軽減に留まらず、共働き世帯等への一層の子育て環境の充実に向け、老朽化した保育園の改修や児童クラブの新設とともに、保育士の確保・育成を推進します。

地域共生社会推進プロジェクト

高齢者や障がい者が、地域社会の一員として、生き生きと暮らせるよう、高齢者福祉や障がい者福祉の充実を図ります。

居住・相談体制の充実

就労支援の充実

生活支援・介護予防・介護者支援の充実

【地域生活支援拠点等整備事業】
親元からの自立を希望する障がい児者及び障がい児者の高齢化や「親亡き後」を支援するため、居住支援の体制(相談、緊急時対応、専門的人材の養成等)を整備します。

【自立支援給付等事業・農福連携サポート事業】
障がい者の自立に向けた就労等を支援します。また、伝統野菜や東浦みかん等の生産における農作業等において、福祉事業者と連携し、障がい者の就労の場の拡大を図ります。

【生活支援体制整備事業・地域医療充実化事業等】
住民同士の助け合い活動の体制を関係機関との連携のもと整備し、家族介護者の相談体制の充実化させるとともに、在宅医療等のサービスの充実を図ることで、地域全体で支え合う地域包括ケア体制を構築します。

健康づくり推進プロジェクト

市民一人ひとりが健康に住み続けられる敦賀を目指し、生涯にわたる健康づくりや介護予防、地域医療の充実に向けた取り組みを推進します。

市民の健康習慣の実践への意識醸成

【健康づくり推進事業】
健康づくりに対する市民の意識高揚を図り、健康習慣を実践しやすい環境整備と実践継続のための支援を行います。

人口を中心とした外部環境要因

合計特殊出生率の減少傾向
※H22 1.76
⇒ H30 1.51

世帯当たり人員の減少傾向
※H22 2.6人
⇒ R1 2.4人

高齢人口の顕著な増加傾向
※H22 15,500人
⇒ H30 18,364人



戦略

県内公立初となる施設一体型小中一貫校「角鹿小中学校」の開校をはじめとした、全市的な小中一貫教育を進めるなど、全国に誇り得る、特色ある教育環境を整えるとともに、

「人道の港」のエピソードをはじめとした地域の特性を活かした「学び」を充実することで、敦賀を次世代につなげ、支える人づくりに取り組みます。

戦略を体現する成果指標

KGI(重要成果指標)

ふるさと学習に興味を持つ子どもの割合
小学生 70%以上
中学生 65%以上
(現状 小学校 67.3%、中学校 61.6%)

戦略を体現する成果指標

KGI(重要成果指標)

公民館利用事業への参加者数
58,800人以上
(現状 57,219人)

戦略を体現する成果指標

KGI(重要成果指標)

保存活用文化財及び文化施設への来場者数
980千人以上
(現状 928千人)

特色ある教育環境整備プロジェクト

全国に誇り得る、特色ある教育環境を整えるため、角鹿小中学校の開校をはじめとした、全市的な小中一貫教育を進めるとともに、次世代を担う子どもたちのふるさと敦賀への誇りと愛着を育むための「学び」を充実します。

教育環境の充実

【教育環境の整備】
児童生徒の学習環境充実のため、「角鹿小中学校」の開校をはじめとした全市的な小中一貫校教育を推進するとともに、個性に応じたきめ細やかな指導等を行う小規模特認校を運営することで、特色ある教育環境を実現します。

【子ども達のふるさと意識の醸成】
家庭・学校・地域が一体となって、学力向上とふるさと意識の高揚に向け、地域人材を活かした体験学習等の実施する地域教育コミュニティ推進事業を実施します。




地域コミュニティ推進プロジェクト

生まれ育った地域とのつながりをより強固にするため、公民館等を拠点とした地域コミュニティの活性化に取り組みます。

地域コミュニティによる子育て支援の充実

【放課後地域子ども教室推進事業】
地区の歴史・文化を知る教室等を公民館にて開催し、生まれ育った地区への愛着を深めます。

公民館事業の活性化

【地域コミュニティ推進事業・生涯学習推進事業】
粟野・東浦地区をはじめ、地区住民主導で、地域振興に取り組むコミュニティの活動に支援するとともに、様々な講座や教室の開催を通じて、公民館の地域コミュニティの拠点化を推進します。




文化財保存等プロジェクト

市民一人ひとりのふるさと敦賀への誇りと愛着を育むため、文化・芸術の振興や文化財等の保存・活用を行います。

敦賀の文化・芸術の振興と文化財の保存

【文化・芸術の振興及び既往文化財の保全整備】
敦賀の文化・芸術の振興に向け、文化団体の活動を支援するとともに、柴田氏庭園や西福寺等の既往の文化財について、文化交流拠点として保存・活用を図ります。

新たな地域資源の掘り起こしと磨き上げ

【新たな地域資源の掘り起こしと磨き上げ】
史跡金ヶ崎城跡や史跡武田耕雲斎等墓といったこれまで十分保存・活用が図られていなかった敦賀の地域資源を掘り起こし、新たな文化交流拠点・観光地として磨き上げていきます。






人口を中心とした外部環境要因

年少人口の減少傾向
※H22 9,832人
⇒H30 8,575人

若年層(20~40歳代)の定住意向の低水準傾向
※R1 市民アンケート

定住理由の7割以上が親類縁者の存在
※R1 市民アンケート

敦賀市に愛着を感じていない市民が2割程度
※R1 市民アンケート

戦略

素材・加工産業やエネルギー産業といった敦賀の強みを活かした地場産業の強化、周辺地域の産業との連携の深化により、関連企業の誘致等を推進することで、モノとエネルギーをつなぐ広域的な経済圏の形成に取り組むとともに、多様な産業を呼び込む企業誘致制度を構築するなど、「つながり」と「多様性」を重視した産業政策を展開します。

また、昨今の感染症拡大を踏まえた新たな生活様式への対応や北陸新幹線敦賀開業に向け、本市の主要産業である商業等の活性化、稼ぐ産業化を推進するとともに、

人道の港をはじめとした地域資源を活かした受け皿づくりを推進し、広域的な観光圏の形成に取り組みます。

戦略を体現する成果指標

KGI(重要成果指標)

新規投資額 80億円以上(累計)

新規雇用者数 100人以上(累計)

戦略を体現する成果指標

KGI(重要成果指標)

「卸売業、小売業」及び「宿泊業、飲食サービス業」の年間売上増加額 10億円以上 (過去3年平均売上高580億円*) *RESASより

戦略を体現する成果指標

KGI(重要成果指標)

観光客入込数 4,190千人以上(年間) (現状 3,694千人)

産業構造の複軸化・エネルギーの多元化推進プロジェクト

産業構造の複軸化等に向け、県の長期ビジョンも踏まえ、敦賀港等の敦賀の強みを活かした地場産業の強化や新規企業の誘致等に取り組むとともに、周辺地域との連携を深化させることで、敦賀を中心としたモノとエネルギーをつなぐ広域的な経済圏を形成します。

【企業立地補助金事業・産業間連携等推進事業】

企業の研究開発を支援するとともに、産業団地への企業誘致等に取り組むことで、敦賀を中心とするモノ・エネルギーのサプライチェーンを構築します。



【嶺南Eコースト計画推進事業(スマートエリアの形成)】

再エネや水素エネ等のエネルギー基盤×情報基盤を構築し、これを活用した先端サービスを展開する企業の集積化による若年層の働く場の確保とDXを推進する敦賀市版スマートエリアの形成を目指します。



強みを活かした産業の育成と企業導入

審議会提案③

新産業分野の集積やSociety5.0、DXへの挑戦

商業等活性化プロジェクト

感染症拡大の影響等によるネット通販需要等の拡大を踏まえ、本市の主要産業である卸・小売・飲食・宿泊業のみならず、一次産業の市場拡大等、稼ぐ産業化を推進します。

【地場産品の開発・ブランド化とふるさと納税の拡大】

敦賀ふぐや敦賀真鯛をはじめとした地場産品のブランド化と商品開発を支援するとともに、ふるさと納税の返礼品とすることで、全国への販路拡大により、稼ぐ産業化を推進します。



商品開発・ブランド化と市場拡大

審議会提案④

ネット通販やインバウンド等観光需要への対応

【敦賀ネットモール利活用推進事業・キャッシュレス化の推進】

コロナ禍によるEC需要拡大や北陸新幹線敦賀開業に向けたインバウンド対応として、ネット上での商店街等の情報発信強化及び様々な支払方式に対応したキャッシュレス化を推進します。



人口を中心とした外部環境要因

新・再エネ関連産業の振興や地元企業の新産業創出に高いニーズ ※R1 市民アンケート

人口減による内需縮小と新型コロナ拡大による通販需要拡大

SNS連動した商業店舗の紹介サイトを望む意見 ※総合計画審議会(高校生部)

観光拠点等整備・回遊性向上プロジェクト

北陸新幹線敦賀開業に向け、観光拠点としての金ヶ崎周辺の整備を推進するとともに、二次交通や新たに整備される新幹線駅東口周辺の基盤整備を活かし、在来線西口への誘導による市内周遊に留まらず、周辺地域との連携による広域観光を展開します。

【金ヶ崎周辺整備構想推進事業】

民間活力の導入による飲食・物販機能の創出を促進するとともに、周辺の既存施設の管理状況を整理し、エリアマネジメントを推進することで、金ヶ崎周辺の観光拠点化を推進します。



金ヶ崎の観光拠点化の推進

【北陸新幹線まちづくり推進事業・広域観光推進事業等】

日本遺産(北前船、鉄道トンネル群)等を活用した誘客促進に取り組むとともに、北陸新幹線敦賀開業に向けて、官民連携の実行体制を立ち上げ、開業イベントや食・名物等の打ち出しにより、市内周遊に留まらない広域観光を一体的に展開します。



官民の連携と得意分野を活かした一体的な展開

北陸新幹線敦賀開業に向けた受け皿づくりによる観光需要の獲得

戦略

北陸新幹線敦賀開業に向け、その受け皿づくりの総仕上げを行い、広域的な観光圏・経済圏を実現する周辺地域とのネットワークの強靱化に取り組み、

生活道路や上下水道等の生活基盤の充実を図ることで、交通の要衝、交流拠点にふさわしい都市づくりとともに、暮らしやすい都市づくりに取り組みます。

戦略を体現する成果指標

戦略を体現する成果指標

戦略を体現する成果指標

戦略を体現する成果指標

KGI(重要成果指標)

広域道路網の整備継続(早期実現)

KGI(重要成果指標)

全事業の整備完了
(北陸新幹線駅周辺施設・道路整備事業、駅西地区土地活用事業)

KGI(重要成果指標)

・汚水処理人口普及率 97.5%
(現状 93.9%)

主要事業の整備完了
(一般廃棄物最終処分場)

整備促進

整備促進

交通結節機能の強化

交流都市にふさわしい玄関口の整備

生活環境の維持・向上

生活環境の維持・向上

広域交通網整備プロジェクト

広域的な観光圏・経済圏を実現するため、周辺地域等との交流や物流の円滑化につながる交通網ネットワークの強靱化に取り組みます。

【国道8号敦賀・南越前バイパス・敦賀バイパス・国道161号拡幅】
国道8号敦賀・南越前バイパス、敦賀バイパス及び国道161号拡幅について、整備促進活動を実施し、早期実現を目指します。

【市道西浦2号線整備事業】
急勾配、急カーブの多い県道のバイパス道路を市道として整備します。

駅周辺整備プロジェクト

来訪者の玄関口となる敦賀駅周辺施設や来訪者が快適に過ごすための環境整備を図り、交流拠点にふさわしい都市づくりに取り組みとともに、北陸新幹線開業後の市内周遊や広域観光の展開のみならず、通勤・通学の拠点形成となる基盤整備を実現します。

【北陸新幹線駅周辺施設・道路整備事業】
新幹線駅前広場や駅周辺の道路の整備を行うとともに、特に、新幹線駅前広場においては、効率的な観光バスの配車や西側への誘導を促すスマート・ロータリーを整備します。

【駅西地区土地活用事業・公共空間利活用推進事業】
駅西地区に民間活力による宿泊、飲食・物販等の機能を有する交流・賑わい施設を整備するとともに、国道8号空間を活用したイベント等を実施し、人の流れを創出します。

生活基盤整備プロジェクト

全ての市民が快適で暮らしやすい環境を維持していくために、生活道路や上下水道の整備、清掃センターの整備等といった生活基盤の整備に取り組みます。

【下水道の未普及対策事業・道路改良事業 等】
公共用水域の水質保全及び生活環境の改善のため、汚水管渠を整備します。
また、人口減少と高齢化を踏まえ、交通弱者に配慮した市道改良やコミュニティバスの運行等に取り組めます。

【一般廃棄物最終処分場・清掃センター整備事業】
新しい一般廃棄物最終処分場及び新清掃センターについて、本市と美浜町にて、共同で整備を行います。

人口を中心とした外部環境要因

物流等の円滑化と災害時の孤立化防止に向けた強靱化の必要性

北陸新幹線敦賀開業に向けた公共交通機能の強化等の必要性

人口減少や高齢化を踏まえた生活環境インフラの整備の必要性

戦略

東日本大震災や近年頻発する局地的大雨の発生を教訓に、笹の川の整備促進等の抜本的な防災対策や公共施設の耐震補強等の減災対策に取り組むとともに、

国内有数の原子力発電所立地自治体であることや昨今の感染症拡大に関する知見等を踏まえ、原子力安全対策とともに、万が一の防災体制等を整え、安全安心なまちづくりに取り組みます。

戦略を体現する成果指標

KGI(重要成果指標)

防災拠点・一時避難施設の運用

戦略を体現する成果指標

KGI(重要成果指標)

防災・減災対策事業の計画的実施

戦略を体現する成果指標

KGI(重要成果指標)

自助意識を高める地域防災マップの作成や防災研修等の参加者数
9,000人以上
(現状 8,565人)

防災拠点施設整備プロジェクト

万が一の災害時において、防災拠点となる市庁舎及び消防庁舎について、様々な災害に耐え得る施設として整備し、災害対応のみならず業務継続性の強化を図ります。

防災拠点の強化

業務継続性の強化

【市庁舎整備事業及び消防庁舎整備事業】
災害時にも庁舎機能を維持可能な自立型防災拠点(耐震性能に加え、自家発電システム・水等を確保)として整備し、市民の一時避難等にも対応可能な施設として運用します。

【業務継続計画(BCP)の改定及び運用】
新庁舎の設備等の仕様を踏まえた業務継続計画の改定を行うとともに、最新の知見を踏まえ、業務継続計画の随時改定・運用を行います。



災害に強いまちづくりプロジェクト

河川改良等の抜本的な防災・減災対策に取り組み、避難道の確保や上下水道の更新等、災害に強いライフラインの整備を推進します。

抜本対策による治水等の強化

減災対策による浸水対策の強化

【河川改修、砂防及び急傾斜地崩壊対策事業】
笹の川・井の口川・木の芽川等の河川の改修や急傾斜地危険指定箇所の整備をはじめとした治水対策、土砂災害対策を実施します。

【下水道の浸水対策事業・上水道の配水設備改良事業】
浸水対策として、公共下水道の雨水幹線築造や松島ポンプ場の計画的な改修・修繕を行うとともに、耐震化対策として上水道の基幹管路の更新を行います。



原子力安全・防災体制強化プロジェクト

これまでに得られた感染症拡大に関する知見を防災事業等に反映するとともに、市民自らが災害に備えることができるよう、自主防災組織の活動の支援や原子力・防災に関する知識の普及に取り組めます。

感染症対策や複合災害対策の推進

きめ細やかな体制強化と理解促進

【防災対策事業等への感染症対策の反映】
これまでに得られた感染症拡大に関する知見を防災事業等に反映し、資機材の備蓄や各種計画等の更新を行います。

【防災啓発事業・地域防災マップ作成支援事業】
地域における災害への備えとして、市民への防災啓発を行うとともに、危険箇所や避難場所等の把握や災害時の連絡体制構築を目的とした地域防災マップの作成や更新を支援します。



人口を中心とした外部環境要因

災害発生時における指揮・動員力の維持・強化の必要性

全国各地における豪雨災害の頻発化による強靱化の必要性

新型コロナウイルス感染症拡大を踏まえた対応の必要性

人口減少に伴う地域の防災力の低下

戦略

「次世代につなげる 夢と希望に満ちた 住みたくなるまち敦賀」を実現していく上で、敦賀市再興プランにて基本方針とした、「市民とともに進める」まちづくりをさらに深化させ、様々な文化や人を受け入れ、発展してきた交流都市 敦賀の特性を活かし、全ての市民の皆様とともに、まちへの誇りを育み、それぞれの持つ多様性を重視する中で、各戦略とこれに基づく各種取組みを推進していきます。

KGI(重要成果指標)

新規移住定住者数 50人以上(累計)

戦略を体現する
成果指標

KGI(重要成果指標)

敦賀市に愛着を感じている市民の割合 85%以上 (現状 82.8%)

戦略を体現する
成果指標

移住定住促進プロジェクト

多様な人が集い、活躍する住みたくなるまちを実現していく上で、北陸新幹線敦賀開業に向けたまちづくりや新しい生活様式への対応等の新しい環境変化を踏まえ、地域経済の活性化を促す施策と連携し、この課題解決等のために移住定住施策を展開します。

移住定住 × 就業

【U・Iターン移住就職支援金】
東京・関西・中京圏の子育て世帯等に対して、市内就職を前提とした移住就職支援金を実施し、移住定住の促進を通じて、企業の人手不足の解消を支援します。

移住定住

人手不足解消

移住定住 × 働く場

【IT・リモート事業所等誘致支援金】
新しい生活様式への対応の一環として、リモートワークの受け皿として、中心市街地等にIT企業等の事業所を誘致し、移住定住の促進を通じて、若い世代の働く場を創出します。

移住定住

働く場創出

移住定住 × トレンド × 実効性

【効果的な移住定住施策の展開】
人手不足やコロナ禍によるリモート需要の増大、北陸新幹線敦賀開業といった移住定住を取り巻くトレンドや環境変化を適切に捉え、効果的な移住定住施策を展開します。

働く場不足? 人手不足?
リモート需要? 通勤・通学環境?

トレンド×実効性

人口を中心とした
外部環境要因

社会減の継続と人口減少の加速化

コロナ禍によるIT・リモート事業所等の地方移転の需要拡大

移住定住を取り巻くトレンドや環境変化の激化

市民とともに進めるまちづくりプロジェクト

「次世代につなげる 夢と希望に満ちた 住みたくなるまち敦賀」を実現していく上で、全ての戦略とこれに基づく各種取組みを推進するため、「市民とともに進めるまちづくり」をさらに深化させます。

まちづくり等への市民活動団体の参画促進

【市民協働・NPO等活動推進事業】
市民や市民活動団体を対象とした研修会を開催し、市との協働事業やまちづくりのための事業を提案する市民活動団体等の活動を支援します。

まちづくり等への市民の参画促進

【地域じまんづくり事業・高校生等との連携 等】
地域の実情に応じた個性豊かできめ細やかなまちづくりに対して、支援を行います。特に、次代を担う中高生等のアイデアや活動をまちづくりに積極的に反映していきます。

市民の愛着の醸成と戦略的な魅力発信

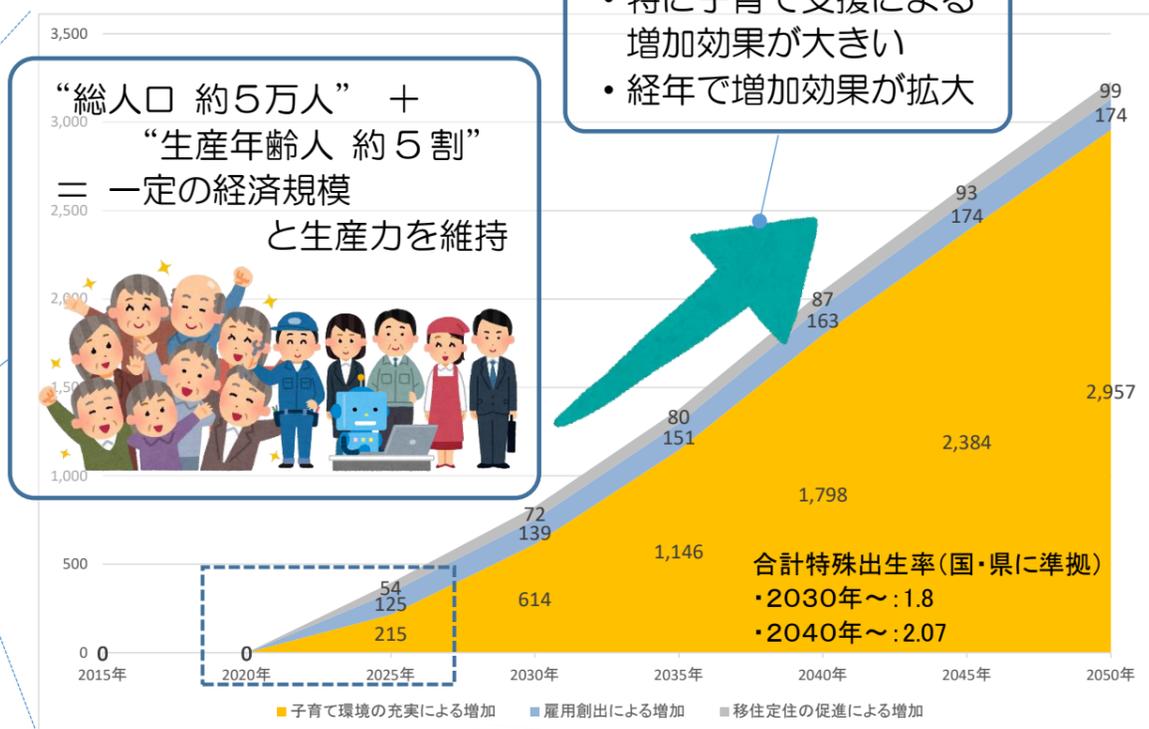
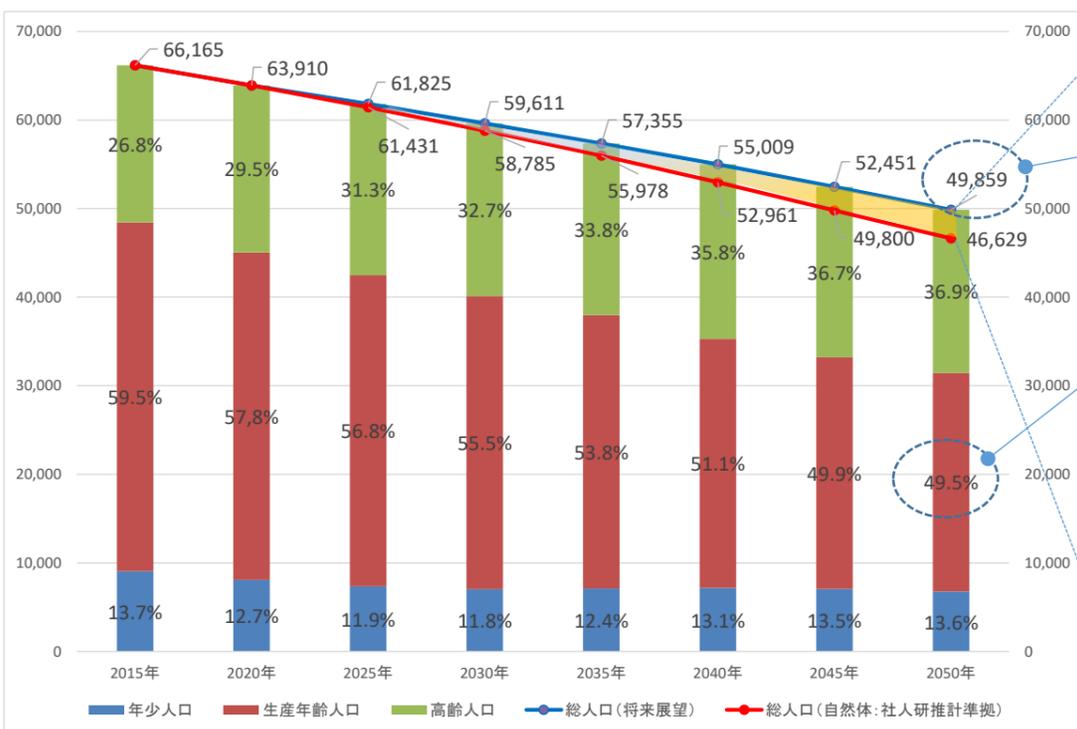
【シティプロモーション計画の策定・実施】
北陸新幹線敦賀開業に向け、観光に留まらず、移住定住も踏まえた敦賀の魅力を戦略的に発信するために、市民の企画提案等に基づくシティプロモーション計画を策定・実施します。

人口減の加速による地域の機能の低下、行政資源の縮小

敦賀市に愛着を感じていない市民が2割程度 ※R1市民アンケート

【参考】人口ビジョンの将来展望に向けたロードマップ

1 人口ビジョンの将来展望及び増加内訳



【人口ビジョンの将来展望】

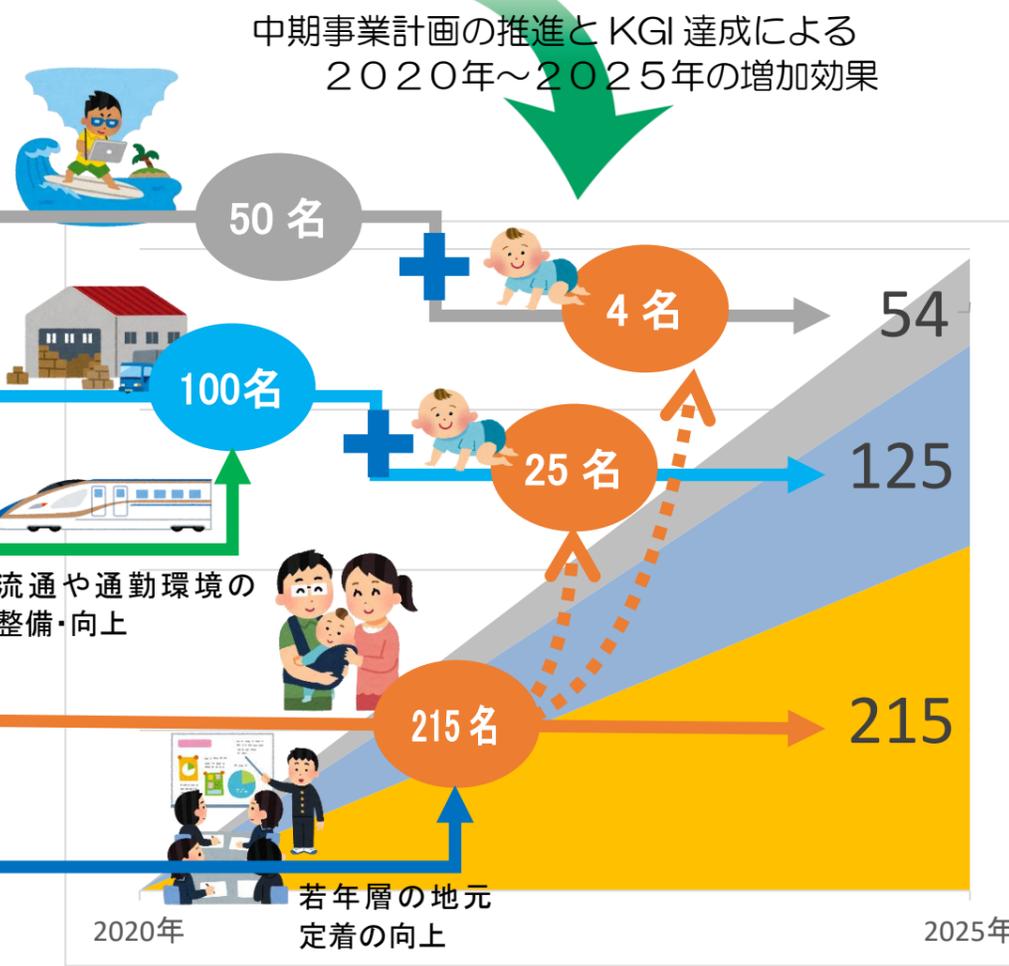
- 社人研推計を「自然体」とし、これに中期事業計画の効果を踏まえて「将来展望」を推計
- 中期事業計画の終了期の2025年時で 394 人増、2050 年時で 3,230 人増(対自然体)を見込む
- また、2050 年時で生産年齢人口の構成割合の約5割維持を見込む

【増加内訳】

- 増加内訳として、移住定住の促進・雇用創出・子育て支援の充実による3つの増加を見込む
- 中でも子育て支援の充実による効果が年を追うごとに増加する
- なお、国・県の人口ビジョンと合わせ、合計特殊出生率を2030年に1.8、2040年2.07と設定

2 中期事業計画（足元5年間）の戦略・主要プロジェクトのKGIと増加効果

戦略	寄与する主要なプロジェクト	KGI(重要成果指標)
市民とともに進めるまちづくりの深化	移住定住促進プロジェクト	移住者数 50 人
【戦略3】産業観光	産業構造の複軸化・エネルギーの多元化推進プロジェクト	新規雇用者数 100 人
【戦略4】都市基盤	駅周辺整備プロジェクト	新幹線整備事業の完了
【戦略1】健康福祉	子育て環境日本一プロジェクト	年少人口 7,400 人
【戦略2】教育文化	特色ある教育環境整備プロジェクト	ふるさと学習に興味を持つ子どもの向上



【主要プロジェクトのKGIと増加効果】

- 足元5年間、中期事業計画期間の主要プロジェクトのKGIの達成によって、以下のとおり、394 人増(対自然体)を見込む

- ① 子育て環境の充実による増加**
 子育て環境日本一PJの保育園・児童クラブの充実等により、215 人増加を見込む
- ② 雇用創出による増加**
 産業構造の複軸化等PJの第2産業団地への企業立地促進等による100 人、そして子の出生による25 人の増加を見込む
- ③ 移住定住の促進による増加**
 移住定住促進PJのU・Iターン移住就職支援金の実施等による50 人、そして子の出生による4 人の増加を見込む